



市では、梅雨や台風シーズンを控えた5月26日(木)に、危険箇所などの防災点検を実施しました。これは、市内にある急傾斜地や土砂災害危険区域などを点検するもので、本年は東郷町・白浜町の急傾斜地などの点検を行いました。今後、点検箇所は必要に応じ、対策を講じます。

防災点検を

実施しました



地域指導者養成講座を5月8日(日)に、少年自然の家で開催しました。児童クラブや学校、青年会議所などから15人の参加がありました。参加者は、手軽で楽しいレクリエーション活動や簡単にできる創作活動などを受講しました。子どもたちへの対応の仕方や、学校や保護者との連携の在り方などについて活発な意見交換もあり、充実した講座となりました。

大人のやる気

向上プロジェクト



リオデジャネイロオリンピック世界最終予選に出場した全日本バレーボールチームのパブリックビューイングを、5月17日(女子)と6月1日(男子)にサンアリーナせんだいで開催しました。両チームは、例年本市で合宿を行っており、両日とも200人を超えるファンが集まり、心を一つに声援を送りました。男子チームはオリンピック出場権を逃しましたが、女子チームは見事、出場権を獲得し、リオへ夢をつなげました。

熱い声援

リオにつなぐ



市内各地から

気持ちも晴れる  
元気な ひまわり  
(亀山地区コミュニティセンター)

平成28年6月7日撮影

まちの話題



地域貢献の一環として、創業50周年を迎えた(株)大和から、消防局へ小型バスが寄贈されました。同社からの車両寄贈は、今回で2回目となります。6月1日(水)に行われた贈呈式では、同社代表取締役社長藤井廣明氏が「防災活動を通じて地域のために役立ててほしい」とあいさつをされました。

防災研修センターを利用される団体の送迎や災害活動の人員搬送などに活用されます。



「防災活動に役立てて」と、

29人乗りバスを寄贈



第8回甌島イカ釣り大会が6月5日(日)、上甌島で開催されました。県内外から130人を超える参加があり、釣れるポイントを見極めて投竿。最大で3キログラムを超える大物を釣り上げるなど、ハイレベルな大会となりました。4日の前夜祭から締めとなった表彰式での抽選会まで、終始盛り上がりました。



大物めがけて一投!

イカ釣り大会開催



H26年度で、1日当たり約80.9トンのごみが出ています。計算になります。

(単位:トン)

	H24	H25	H26
資源ごみ	3,220	3,134	3,008
粗大ごみ	1,465	1,388	1,458
燃やせないごみ	980	1,043	1,007
燃やせるごみ	24,762	23,928	24,054
合計	30,427	29,493	29,527

ごみが増える何が問題?

○ごみを燃やす際に、石油や電気など、多くのエネルギーを消費してしまい、限りある地球の資源を無駄に使ってしまいます。市の経費もそれだけかかることとなります。

本市のごみの量はどのくらい?

私たちが生活するうえで、必ず出るごみ。このごみを処理するために、多くの経費が使われています。私たちのちょっとした工夫や心掛けて、ごみも経費も減らすことができます。

私たちにできる取り組みは?

① 詰め替え商品やばら売りをなるべく利用し、使い捨て容器や使い捨て商品の使用を抑えましょう。  
② 会食や宴会時は、乾杯後30分間とお開き前10分間は、席を立たずに料理を楽しむ30・10(さんまるいちまる)運動を推進し、食べ残しがないように努めましょう。  
③ 毎月10日を、「もったいないクッキングデー」とし、これまで捨てていた野菜の茎や皮などを、上手に活用して料理を作ってみましょう。  
④ 毎月30日は、「冷蔵庫クリーンアップデー」とし、冷蔵庫内の賞味期限や消費期限の近い食材、傷みや古い食材から優先的に使用し、冷蔵庫を整理しましょう。  
⑤ 生ごみの約80%は水分です。しっかりと水分を切って、ごみに出しましょう。

野焼きの禁止について

市では、生ごみの自家処理(堆肥化)を推進しています。生ごみ処理機器を購入し、設置した方へ補助金を交付しています。  
ごみの分別は、私たちの生活に定着してきていますが、いまだマナーを守らない人も多く見受けられます。ごみの仕分けについては、「ごみの分別ハンドブック」「ごみ・資源ごみ収集カレンダー」などを参照ください。  
\*本庁環境課または各支所地域振興課で配布しています。

資源ごみ?燃やせるごみ?迷ってしまう「ごみの疑問」

Q: 洗っても落ちない、汚れなどが付着したペットボトルやプラスチックはどっち?  
A: よく洗ってあれば、資源ごみで出してください。洗い方が不十分な場合も、安易に燃やせるごみとはせず、再度洗って、資源ごみに出すようにしましょう。

ただし、発泡スチロールにマジックで書いてあるものなどは、洗っても消えない部分だけカットし、細かく切って燃やせるごみで出してください。

Q: 値札のシールなどが貼ったままのトレイなどはどっち?  
A: 紙製のラベルやシールなどは「取る範囲」ではがしてください。どうしてもはがれない場合は、そのまま資源ごみに出してください。

豊かな環境を子どもたちのために  
ごみの減量始めませんか

【問合先】本庁環境課廃棄物対策グループ  
(内線2731・2732・2733)

「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供をいただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ、投稿ください。